



## 最終処分場の分析評価・基礎技術開発事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境	課名	循環社会推進	課長名	宮永節哉	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [ 元気な社会 ]			事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度	H28 年度
関連する県の計画等			政策 [ 豊かな環境 すぐれた風景を次の世代に ]									
[事業目的]												
跡地利用されている廃棄物最終処分場の安定化が進行しやすく、かつ、メタンガスが発生しにくい埋立方法・管理条件を探るとともに、自然エネルギーを利用した安定化促進の基礎技術開発を行う。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> <li>○現場状況把握調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>①気象、水位変動等データ収集</li> <li>②植物栽培試験 等</li> </ul> </li> <li>○安定化促進技術開発 <ul style="list-style-type: none"> <li>①自然エネルギーを利用した安定化促進装置の開発</li> </ul> </li> <li>○解析評価</li> </ul>												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由				
当初予算額の推移	4,029	5,669	5,641	6,565	19,747			平成28年度は水質分析機器（連続流れ分析装置）の更新整備				
2月現計予算額の推移	4,029	9,802	5,641	6,565								
決算額の推移	3,978	9,798	5,606									
[成果指標等の推移]												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	研究成果の発表（回）	(目標) (4)	(4)	(4)	(4)	(4)		4回（自主発表2回、連名発表2回）の発表を目標とする				
		実績 18	11	8	4(見込み)							
活動指標	ガス・水質検査（回）	(目標) (12)	(12)	(12)	(12)	(12)		観測井のモニタリング回数（1回／月を計画）				
		実績 14	12	12	12(見込み)							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	19,747	19,747			0	事業実施方法	直営					
						補助率	—					

# 事業評価

事業名	最終処分場の分析評価・基礎技術開発事業	部局名	安全環境	課名	循環社会推進	課長名	宮永節哉
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>平成25年11月から福井県産業廃棄物処理センターにおいて太陽光発電所としての跡地有効活用が開始され、廃棄物最終処分場の安定化促進とともに跡地利用時の安全性確保が重要になっている。</p> <p>そのため、県内処分場における跡地活用が安定化に及ぼす影響を評価するための研究事業を、国庫補助金を活用し、平成26年度から平成28年度まで実施する。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
最終処分場管理者、処分場利用発電事業者				処分場15か所、発電事業2か所			
他県の状況	埼玉県（埼玉県環境科学国際センター）が類似した内容の研究を、平成27年度から開始した。 成果報告は未だ無い。			前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名      最終処分場安定化研究事業 （実績） 平成20～22年度に、北陸型気候に曝された最終処分場の特徴について調査した。 多降雨の影響により、埋立地内部に水が溜まりやすい特徴が判明した。 この事業成果を受け、跡地利用法の検討と課題の解決という本事業の目的を設定した。		
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 （役割分担）			市町との連携状況	連携なし		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
8回（自主3回、連名5回）発表したことから成果指標を達成した。 ガス・水質検査を12回実施したことから活動目標は達成した。		現在継続中の最終処分場跡地利用に関する研究において使用している既存機器が故障し、試験継続が困難となるおそれがあるため、当該機器の購入費を計上した。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

④ 産業廃棄物減量化・適正処理推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	循環社会推進課	課長名	宮永節哉	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	■ 政推枠 ビジョン [ 元気な社会 ]		政策 [ 豊かな環境 すぐれた風景を次の世代に ]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	H32 年度
関連する県の計画等	[ 福井県廃棄物処理計画 ]											
[事業目的]												
産業廃棄物の減量化と適正処理を進めるため、排出事業者を対象とした研修会等を実施する。												
[事業内容]												
<p>○ 研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修規模：①多量排出事業者研修会 150名/回×1回/年 ②中小規模排出事業者研修会（廃棄物処理基礎講座）150名/回×6回/年</li> <li>・ 研修内容：①多量排出事業者研修会…「廃棄物の減量化・リサイクルの促進」 ②中小規模排出事業者研修会…「廃棄物について」、「廃棄物の適正処理」、「県内の減量化事例」、「不法投棄について」等</li> </ul> <p>④ リサイクル情報交換会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 排出事業者 50名/回×1回/年</li> </ul> <p>④ 優良事業者表彰</p> <p>表彰対象</p> <p>排出事業者…排出抑制・リサイクルの優良な取組みを行っている事業者 3社 処理業者…優良産業廃棄物処理業者で一定の基準をみたすもの 2社</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由				
当初予算額の推移				1,837	1,009	1,009	1,009	27年度はパンフレットを作成し、県内すべての事業所に配布したため。				
2月現計予算額の推移				1,837								
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	最終処分量率 (目標)		2.2%				1.8%	最終処分量率=最終処分量/排出量 (%) 最終処分量率は5年毎に実施の産業廃棄物実態調査により調査				
	実績											
活動指標	研修会開催数 (目標)			1回/年	7回/年	7回/年	7回/年	多量排出事業者研修会 1回 中小規模排出事業者研修会 6回				
	実績											
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	1,009				1,009	事業実施方法		直営				
						補助率		—				

# 事業評価

事業名	産業廃棄物減量化・適正処理推進事業	部局名	安全環境部	課名	循環社会推進課	課長名	宮永節哉	
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>○多量排出事業者（年間発生量500t以上） 事業所数では県内の約0.4%（199事業所）を占める多量排出事業所が県内発生量の約78%（24,205百t）を占めており、少数の多量排出事業所が発生量の大部分を占めている。</p> <p>○中小規模排出事業者（年間発生量500t未満） ・不法投棄の原因者をみると、小規模事業者の占める割合が高い。 平成22～26年度 不法投棄発生件数 68件（うち多量排出事業者分 0件 中小規模排出事業者分 45件 不明分 23件）</p> <p>○リサイクル率は近年頭打ちとなっている。 →以上のことから減量化・リサイクル・適正処理をテーマとした研修会を開催するとともにリサイクル情報提供を行う。また、優良事業者には表彰を行う。</p>								
[受益者] 排出事業所				[想定される受益者数] 1,050事業所				
他県の状況	石川県 25年度最終処分量率 2.5% 富山県 25年度最終処分量率 3.8%	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）					
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況						
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
多量排出事業者研修会 1回開催 研修内容：廃棄物減量化を実現するための技術とソフト 最近の廃棄物処理法の改正等について		これまで多量排出事業者の研修会を実施してきたが、さらに減量化を進めるため、新たに下記の事業を実施する。 ・中小規模排出事業者研修 ・リサイクル情報交換会 ・優良排出事業者および処理業者表彰 また、研修会講師謝金の見直しを行った。			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

① 新 ごみ減量化・リサイクル推進強化事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	循環社会推進課	課長名	宮永節哉	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	■ 政推枠 ビジョン		[ 元気な社会 ]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度	H30 年度
	政策		[ 豊かな環境 すぐれた風景を次の世代に ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金				
関連する県の計画等			[ 福井県廃棄物処理計画 ]				<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他				
[事業目的]												
一般廃棄物の減量化に向けた政策の実施を加速させるため、市町と共働で減量化のためのモデル事業を実施する。												
[事業内容]												
(1) 新たな紙資源回収によるリサイクル率の向上 小規模事業所と家庭の紙資源を共同回収するためのボックス設置等の支援												
(2) ごみ減量化推進体制の整備 県、市町および住民代表による「ごみ減量化推進会議」を設置												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						1,188	1,188	1,188				
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	1人1日当たりごみ排出量 (g)	(目標) (840)	(840)	(840)	(840)	(863)			現計画での目標値：840g (平成27年度まで) 県内ごみ総排出量÷(県内人口×365日)			
		実績 908	906	(未発表)								
活動指標	雑がみ回収体制整備市町	(目標)				(10)	(5)	(2)	雑がみ回収に取り組む市町の状況			
		実績										
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県、市町				
予算額	1,188					事業実施方法		ボックス設置費の補助				
						補助率		1/2 上限額あり				

## 事業評価

事業名	⑨ ごみ減量化・リサイクル推進強化事業	部局名	安全環境部	課名	循環社会推進課	課長名	宮永節哉
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>平成25年度の1人1日当たりの一般廃棄物排出量は906gであり、初めて全国平均(903g)を上回った。          また、家庭から排出される燃やせるごみの組成を見ると、紙ごみが53%を占めており、紙ごみを資源化することがごみの減量化につながる。          「福井県廃棄物処理計画」(平成28～32年度)の目標を達成するため、一般廃棄物処理の当事者である市町を誘導して「ごみ減量化」に向けた施策の実施を加速させる。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県民全体							
他県の状況	1人1日当たりのごみ排出量 全国23位 富山県 936g 28位 石川県 970g 38位	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	・市町のごみ政策責任者と市民代表による「ごみ減量化推進会議」の開催 ・市町のごみ政策企画者による、政策提言を実施するチームの設置 ・紙資源回収モデルの構築にあたり、自治会等への働きかけなどの協力を求めるとともに、回収ステーションの設置費用の一部を補助				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

㊦ 「おいしいふくい食べきり運動」推進強化事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	循環社会推進課	課長名	宮永節哉	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会 政策 [豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]			事業 区 分	■ 国庫 ■ 県単 □ その他	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H18 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等		[	廃棄物処理計画、環境基本計画 ]									
[事業目的]												
家庭から排出される生ごみの減量化を図るため、「食べきり運動」の活性化と定着を目指すとともに、全国食べきりネットワークを構築し、本県の運動をアピールする。												
[事業内容]												
<p>㊦ 食べきり運動実施自治体による全国食べきりネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食べきり運動実施自治体の協議会設立総会開催</li> <li>・食べきり施策バンク作成</li> </ul> <p>○ 食育とともに学ぶ「おいしい食べきり運動」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフステージに応じた方法により各年代層に食べきり運動を周知</li> <li>・未就学児の子供とその保護者 食べきり親子学習会 (50園で実施) 県連合婦人会に委託</li> <li>・小中学生 味覚を学ぶ授業、高校生 食材を知る授業 栄養教諭、学校栄養士、家庭科教諭に周知</li> <li>・地域 おいしいふくい食べきりの日の啓発、企業訪問、地域イベント啓発 県連合婦人会に委託</li> </ul>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		2,847	1,985	2,961	5,882	2,546	2,546	2,546	27年度は、本県で3R推進全国大会が開催され、関連イベントの予算を計上していたため、28年度予算は減となった。			
2月現計予算額の推移		2,847	5,748	2,674	5,302							
決算額の推移		2,618	5,659	2,486								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	食べきり運動認知度 (目標)	—	—	—	(62)	(68)	(74)	(80)	食品ロス削減のために、食べる側への食べきり意識の周知を徹底			
	実績	40	51	56								
活動指標	食べきり学習会開催数 (目標)				(30)	(163)	(163)	(163)	食べきりを直接働きかける機会の増加			
	実績											
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県、県連合婦人会					
予算額	2,546	1,547			999	事業実施方法	直営、委託					
						補助率	—					

## 事業評価

<b>事業名</b> ㊦ 「おいしいふくい食べきり運動」推進強化事業	<b>部局名</b>	安全環境部	<b>課名</b>	循環社会推進課	<b>課長名</b>	宮永節哉	
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>平成27年1月に実施した燃えるごみの組成調査では、食品廃棄物が全体の38%を占め、そのうち食品ロスは25%となっている。平成22年1月の組成調査では、食品廃棄物が全体の46%であったことから、減少してきているが、まだ十分ではない。</p> <p>そのため、「おいしいふくい食べきり運動」を食育推進事業とともに実施することで、ライフステージに応じた方法で各年代層に食べきり運動を周知する。</p>							
[受益者] 県民、未就学児とその保護者、小中学生、高校生			[想定される受益者数]				
<b>他県の状況</b>	食べきり運動実施都道府県数 21	<b>前事業の有無・実績</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
<b>関連事業の有無・役割分担</b>	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ライフステージに応じた食育推進事業 (役割分担)  循環社会推進課は、保育園、地域への啓発活動を主に行う 食糧産業振興課は、小中学生、高校生、食育リーダーの養成を行う	<b>市町との連携状況</b>					
[事業の評価]							
<b>前年度の実績</b>		<b>実績を踏まえた28年度の変更点</b>		<b>事業評価</b>			
・「食べきり運動協力店」および「食べきり家庭応援店」の登録店を増やしたほか(1,165店)、協力店が取組みを強化する「食べきりウィーク」(11月9日～23日、1月25日～2月8日)を実施し、県民にアピールした。 ・おいしいふくい食べきり運動の認知度が51%→56%に向上した。 ・「3R推進全国大会」の27年度の開催地が福井県に決定した。		・食育とともにおいしいふくい食べきり運動を展開することで、これまで実施していなかった小中学生、高校生に啓発を行う。 ・3R推進全国大会開催後の食べきり運動実施自治体のネットワークづくりを行う。		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	



## 事業評価

事業名	⑩ 物を大切に作る社会づくり推進事業	部局名	安全環境部	課名	循環社会推進課	課長名	宮永 節哉	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>・ H21年度より「古本市」および「おもちゃの病院」を実施し、ボランティアでおもちゃの修理を行う「おもちゃの修理ドクター」を、4年間で約230名養成、累計15,403冊の古本をリサイクルし、県民の“物を大切に作る心”を醸成してきた。</p> <p>・ 引き続き、民間団体による自主的な「おもちゃの病院」、「古本市」の開催を支援するため、平成30年まで補助を続ける。</p> <p>・ また、「古本」「おもちゃ」に加えて、新たに修理して長く使うことの良さの啓発、子育て世代に向けたリユース市の開催を行い、いままで関心がなかった県民への周知を行う。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県民								
他県の状況	<p>・ 古本市 古本市を実施している都道府県は無い。全国各地の市町村の図書館では、余った古本を無料で提供または販売を行うなどでは、自主的に古本市を実施。</p> <p>・ おもちゃの病院 おもちゃ病院の支援を行っている都道府県は無いが、全国では約580箇所のおもちゃ病院が自主的に活動している。</p>	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	市町主催の環境フェアに参加し、啓発イベントとして古本市やおもちゃの病院を開催。 市町の子育て支援センター等でリユース品の回収と定期的なリユース市の開催を継続して実施していく。					
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
<p>・ 古本市 古本の販売数 4,761冊</p> <p>・ おもちゃ病院の立上げ 1病院(大野市)</p> <p>・ おもちゃの病院実施回数 13回</p> <p>・ おもちゃドクター養成数 23名</p> <p>・ おもちゃマイスター養成数 33名</p>		<p>・ 使用期間が短い子育て用品のリユース市を開催し、子育て世代を応援するほか、修理が身近に感じられるよう「まちの修理屋さん」情報を提供するなど、今まで働きかけてこなかった県民への啓発を行う。</p> <p>・ 民間団体が自主的に「おもちゃの病院」、「古本市」を開催できるよう、補助率を下げながら支援を行う。</p>			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	